

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

N

地理歴史 [日本史B] (各科目) 100点

注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の第1解答科目欄・第2解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史 A	4～23	受験できる科目数は、受験票に記載されているとおりです。 なお、以下の組合せは選択できません。 ・「世界史A」と「世界史B」 ・「日本史A」と「日本史B」 ・「地理A」と「地理B」
世界史 B	24～47	
日本史 A	48～71	
日本史 B	72～105	
地 理 A	106～133	
地 理 B	134～166	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、10 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

6 不正行為について

- ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
- ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者がカードを用いて注意します。
- ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

7 2科目受験者の試験の進行方法について(2科目受験者のみ確認)

- ① この試験は、前半と後半に分けて実施します。
- ② 前半に解答する科目を「第1解答科目」、後半に解答する科目を「第2解答科目」として取り扱います。解答する科目及び順序は、志望する大学の指定に基づき、各自で決めなさい。
- ③ 第1解答科目、第2解答科目ともに解答時間は60分です。60分で1科目だけを解答しなさい。
- ④ 第1解答科目の後に、答案を回収する時間などを設けてありますが、休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。

注) 進行方法が分からない場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史 B

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・Bは、歴史学科を卒業し、ある自治体の観光課に配属されたRと、同課の先輩Tとの会話である。この文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A

R：観光課の重要な仕事の一つは、地域の知名度を高めて、多くの人々をうちの自治体に呼び込むことですね。観光といえば、やはり特産品と歴史、そして「くまモン」のようなゆるキャラは外せないように思いますが、どうでしょうか。

T：確かに最近では、どこの自治体も地域の文化資源を活用して積極的に観光客を呼び込み、地域の振興につなげようとしていますね。君の出身地の埼玉県ではどんな状況だったのかな。

R：たとえば、㉑ 国宝の鉄剣が出土した埼玉古墳群が「さきたま古墳公園」として整備され、観光スポットとなっています。それに、深谷市は「ふっかちゃん」でアピールしていますが、そのゆるキャラは特産品の深谷ネギからきてますね。

T：特産品には歴史的に培われた産業に関係するものも多く、歴史と無関係ではない場合が多いようだね。ゆるキャラと歴史の関係はどうだろうか。

R：彦根市の「ひこにゃん」のように、戦国大名や江戸時代の領主が地域を代表するキャラクターになる場合が多いように思います。中世から近世に変わる時期は、社会体制や㉒ 土地制度などに大きな変化があっただけに、印象深い時期の一つとなっているのかもしれませんがね。それに、「出世大名康くん」は徳川家康がモデルですが、現在の浜松市の特産品である鰻^{うなぎ}や工業生産品も含む、地域の歴史・産物を凝縮したキャラクターですよ。

T：「出世大名康くん」は羽織に鰻の丁髷^{ちよんまげ}という格好だけど、昔の人物をモチーフとする場合は㉓ 衣装をはじめとする風俗も現代とは違うから、歴史的な考証が必要になってくるね。観光課の仕事と歴史は、結構、関係が深いんだよ。

R：そうですね。僕としては、まずはこれからこの地域の歴史を地道に調べて、人知れず残されている魅力的な文化資源を探してみようと思います。

問 1 下線部④に関連して、次の史料は埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣銘の一部である。この史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 1

史料

(前略)其の児、名は乎獲居^{をわけ}の臣。世々^{じょうとうじん}(注1)、杖刀人の首と為^{なり}り(注2)、奉事し(注3)来り今に至る。獲加多支鹵^{わかたける}の大王の寺^{しき}(注4)、斯鬼^{しき}の宮に在る時、吾^{われ}(注5)、天下を左治^{さじ}し(注6)、此の百練^{ひやくれん}の利刀^{りとう}(注7)を作らしめ、吾^{われ}が奉事の根原^{ねげん}を記す也。

(「稲荷山古墳出土鉄剣銘(裏面：部分)」)

- (注1) 世々：代々の大王の治世。また(前略)とした部分には、「乎獲居の臣」に至る代々の先祖の名が記されている。
 (注2) 杖刀人の首と為り：「杖刀人」という大王の親衛隊の中心をつとめ。
 (注3) 奉事し：大王に奉仕し。
 (注4) 寺：役所(朝廷)。
 (注5) 吾：「乎獲居の臣」のこと。
 (注6) 左治し：統治を助け。
 (注7) 百練の利刀：何回も鍛えたよく切れる刀剣。

X 史料には、「獲加多支鹵の大王」の役所(朝廷)が「斯鬼の宮」にある時、「乎獲居の臣」は、大王が天下を治めることを助けたことが記されている。

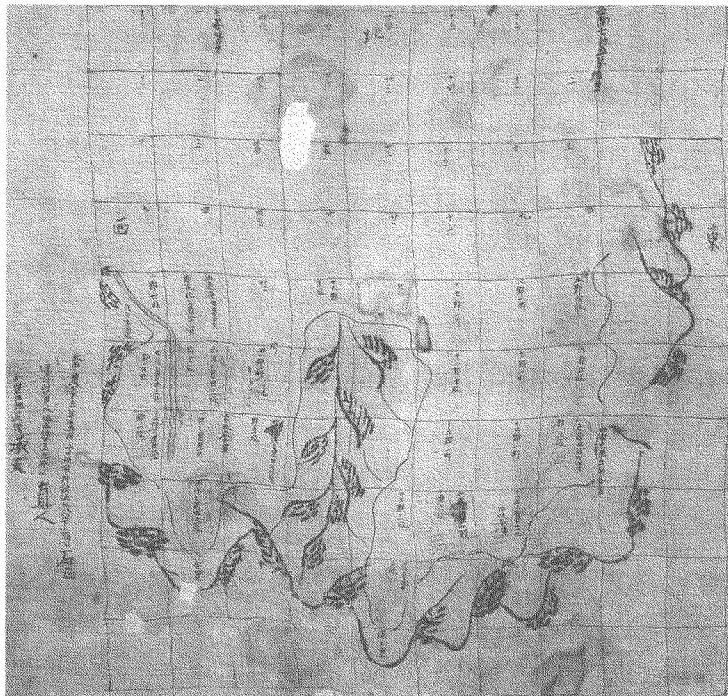
Y 史料にある「獲加多支鹵の大王」は、熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀銘にある人物と同一とみなされる。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

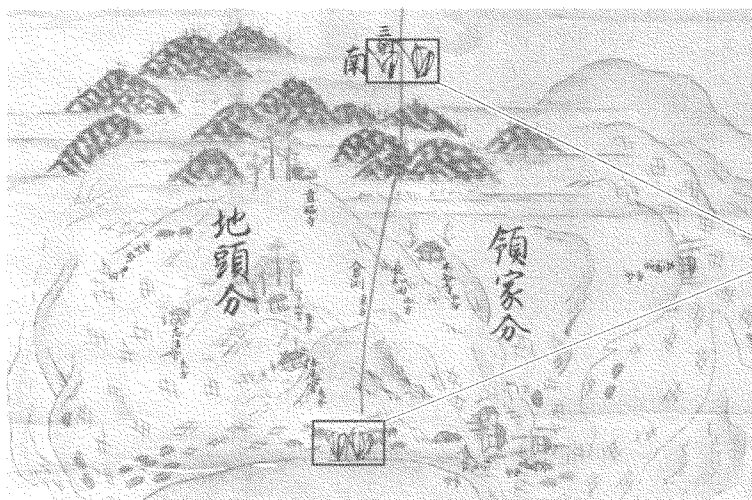
日本史B

問 2 下線部①に関して，土地制度にかかわる次の図・写真 I～IV について述べた文として正しいものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 2

I 東大寺領くそおき養置荘開田図

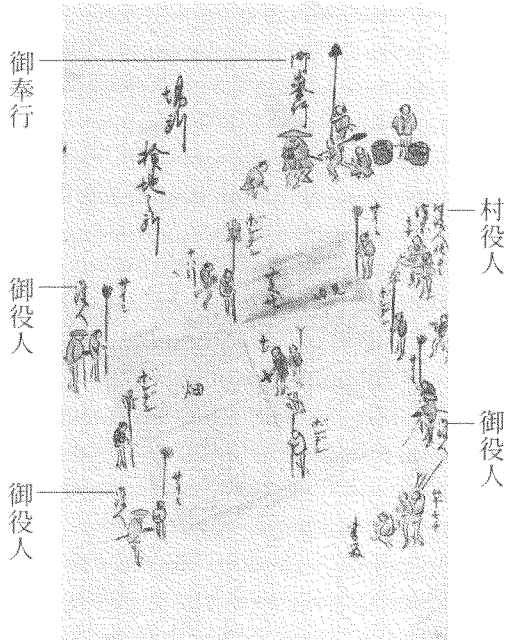


II 伯耆国東郷荘の下地中分図



執権・連署の
花押(サイン)

Ⅲ 検地仕法



Ⅳ 地券



- ① Iでは、条坊制にもとづく土地区画のための線が引かれている。
- ② IIでは、荘園領主同土が和解し、幕府の関与のもと下地中分が成立した。
- ③ IIIでは、奉行が役人や村役人らを監督し、検地を行っている。
- ④ IVでは、土地所有者・土地面積・収穫高などがそれぞれ記されている。

日本史B

問 3 下線部㉔に関連して述べた次の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、
下の①~④のうちから一つ選べ。 3

- a 平安時代には、束帯や衣冠が宮廷女性の正装となった。
- b 戦国・安土桃山時代には、女性の普段着として小袖が一般化した。
- c 江戸時代には、生地に華やかな模様を表す友禅染が流行した。
- d 明治時代には、モボとよばれる男性が繁華街を闊歩した。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

B

- R：地域の発信力という点、やはり世界遺産の影響は大きいですね。2014年、世界文化遺産に登録された富岡製糸場が一躍有名な観光地となったことは記憶に新しいです。明治政府は、自立した近代国家をつくるために、西洋の技術を導入し、殖産興業を推進して **ア** をはかりました。富岡製糸場は、㉑ 輸出品である生糸の品質向上のために設置された官営模範工場だったんですね。
- T：近年、こうした日本の近代化遺産が注目を集め、明治維新150周年にちなんだイベントも各地で実施されたり計画されたりしているようだよ。
- R：でも、全国的に有名な遺産だけが注目されていますが、地域の歴史上、重要な近代の遺産も身近に多く残されています。こうした文化資源は、今、将来を見据えて保存しておかないと、どんどん消滅していく危険性はありませんか。
- T：その視点はとても重要だね。そういえば、祖父の実家がある山口市にも、初代朝鮮総督ゆかりの図書館だった建物が人知れず残っていたな。
- R：それは、結構、貴重な文化資源ですよ。
- T：ただ、明治維新を経て近代国家となった日本が、軍事的にアジア諸地域へ侵攻し、㉒ 他国を植民地にしたり領有したりしたことも忘れてはいけない。それに、世界遺産は観光資源として魅力的だけど、本来は遺産の保存が目的だしね。ところが、世界遺産に登録されたことで観光客が急増したため、深刻な交通渋滞やゴミ問題が発生したり、史跡や自然の保存に支障が出ている場合もあるんだ。たとえば、院政期には、白河上皇も行った **イ** がさかんだっけけど、その参詣道の周辺では近年、石仏の破壊や盗難も発生しているらしいよ。
- R：史跡や自然を観光に活用することと、それらを保存し未来に継承していくこととは、目先の経済振興を優先したいという思惑などもあって、簡単に両立とはいかないですね。いろいろな問題点を教えていただきありがとうございます。

日本史B

問 4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 富国強兵 イ 熊野詣
- ② ア 富国強兵 イ 伊勢詣(伊勢参り)
- ③ ア 民力休養 イ 熊野詣
- ④ ア 民力休養 イ 伊勢詣(伊勢参り)

問 5 下線部①に関連して、近代以前の商品の生産や流通に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 平安時代には、輸入品が唐物として珍重されるようになった。
- ② 鎌倉時代には、問(問丸)が商品の運送にかかわった。
- ③ 室町時代には、地方で見世棚が普及し、市場の市日が減少した。
- ④ 江戸時代には、肥前で磁器がさかんに生産され、海外へ輸出された。

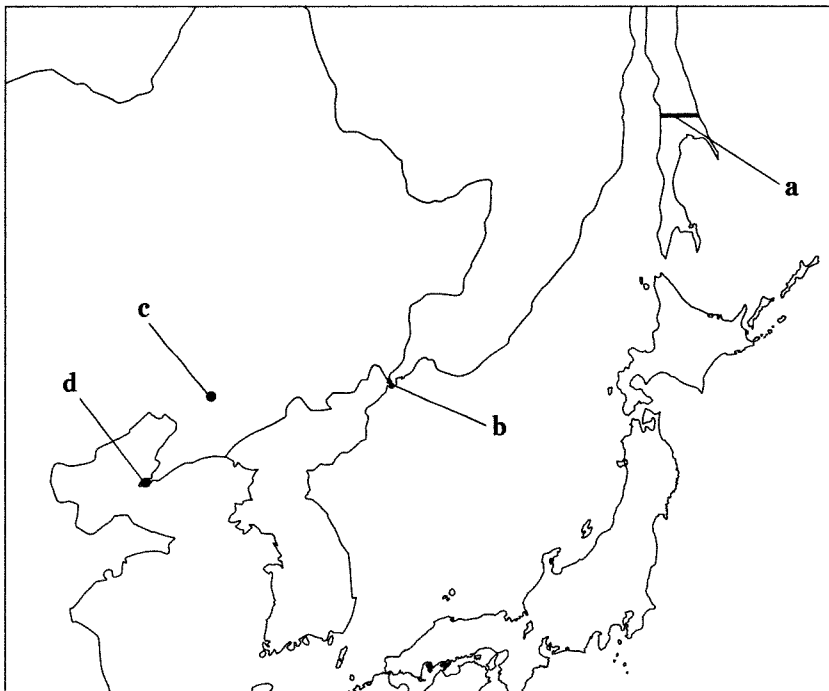
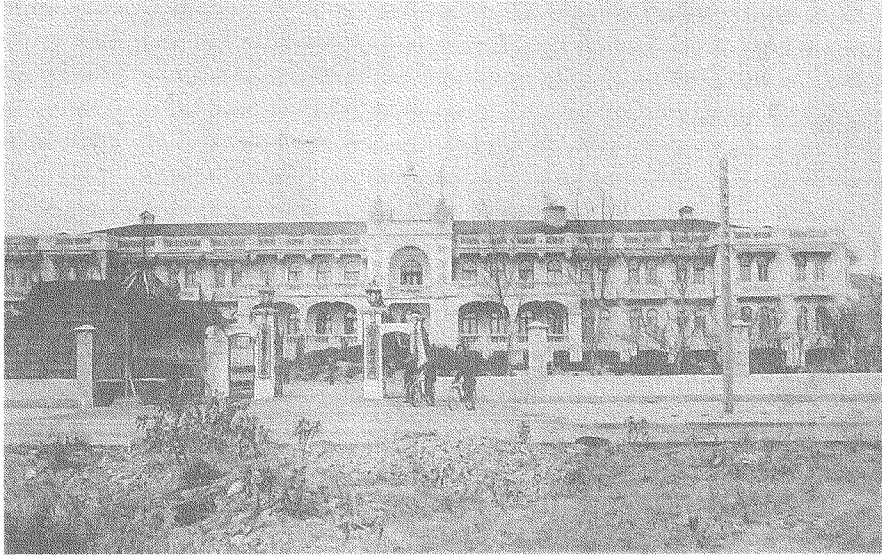
問 6 下線部②に関連して、次の写真X・Yと、それが設置された場所(境界線・都市)を示した次ページの地図上の位置a～dとの組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

X



写真の文字は右から左に読み、上段最後の文字は「國」で「国」のこと。石碑の裏面には、ロシア語で「ロシア」「境界」の文字と、石碑の設置年を示す「1906」の数字が刻まれている。

Y 関東州の管轄と南満州鉄道株式会社の保護・監督にあたる機関



① X - a Y - c

② X - a Y - d

③ X - b Y - c

④ X - b Y - d

日本史B

第2問 原始・古代の国家・社会と音楽との関係に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A 発掘調査によって、原始・古代の人々の奏でた音を推測させる資料が見つかることがある。たとえば、縄文時代の遺跡から石や土で作られた笛が発見されているが、これは狩猟の場面などで使用されたと考えられている。弥生時代の釣り鐘状の青銅器である銅鐸は、を中心に出土している。その表面には脱穀の様子を描いたものなどがあり、農耕の祭りのなかで用いられた可能性が高いとされる。古墳時代に製作された埴輪のなかには、琴や太鼓を演奏する人物をかたどったものがある。これは、当時の葬送儀礼の様子を推測させる資料であるとともに、^㉑大王や豪族に仕えた楽人の存在をうかがわせるものでもある。

文献資料のなかにも歌舞や演奏の場面が多く見いだされる。が誦み習った内容を太安万侶が筆録した『古事記』には、天皇の系譜や神話・伝説とともに多くの歌謡が載せられている。音楽は、特に神祭りの際に重要な役割を果たした。史実とはみなしがたいものの、『古事記』や『日本書紀』には、琴の演奏によって神託を得た神功皇后が^㉒新羅を征討したという説話が記されている。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 九州北部 イ 稗田阿礼
- ② ア 九州北部 イ 淡海三船
- ③ ア 近畿地方 イ 稗田阿礼
- ④ ア 近畿地方 イ 淡海三船

問 2 下線部㉔に関連して、ヤマト政権の政治連合に参加した豪族について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 豪族は、政治連合に参加すると、前方後円墳の築造が禁止された。
- ② 豪族は、屯倉とよばれる私有地を領有して、みずからの経済基盤とした。
- ③ 豪族は、^{うじ}氏を単位として、ヤマト政権の職務を分担した。
- ④ 豪族は、子弟を公奴婢にして、大王へ出仕させた。

問 3 下線部㉕に関連して、ヤマト政権(倭)と朝鮮半島との関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

- Ⅰ 新羅と結んだ筑紫国造磐井が、大規模な反乱を起こした。
- Ⅱ 朝鮮半島での立場を有利にするため、倭の五王が中国へ朝貢した。
- Ⅲ 朝鮮半島に渡った倭の兵が、好太王(広開土王)に率いられた高句麗の軍隊と交戦した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史B

B 律令国家が思想的な基盤の一つとした儒教では、「礼」とともに「楽」が重視された。そのため、㉔律令制度のもとでは、ユーラシア各地に由来する外来の音楽と、日本古来の音楽との教習を国家的に行う役所として、雅楽寮が設置された。鎮護国家の役割を担い、国家的に推進された仏教においても、音楽は重視された。特に、聖武天皇の娘である孝謙天皇のときに開催された㉕大仏開眼供養会では、華やかに音楽が演奏された。

平安時代になると、奏楽は天皇や貴族の教養として重視され、宮中や貴族の邸宅で音楽が演奏される場面も増加した。雅楽寮の役割は縮小し、かわって天皇の警護を主な任務とする近衛府が、音楽をともなう宮廷儀礼も担うようになり、奏楽の面での比重を増した。また浄土信仰の流行のなかで、音楽は極楽浄土の様子を表現する手段にも用いられた。たとえば、平等院鳳凰堂の壁面には、本尊阿弥陀如来像を囲むように、さまざまな楽器を持つ菩薩像がかけられている。宮廷の周辺で発展した音楽は、寺社を拠点の一つとして㉖地方へ伝わっていった。

問 4 下線部㉔に関連して、律令制下の政治の仕組みに関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 国政は、太政大臣・左大臣・右大臣・大納言などの会議で審議された。
- ② 官吏養成機関である大学には、郡司の子弟が多く入学した。
- ③ 官人には位階が与えられ、原則として位階に対応した官職に任じられた。
- ④ 官庁には、長官(かみ)・次官(すけ)・判官(じょう)・主典(さかん)の四等官がおかれた。

問 5 下線部①に関連して、次の史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

史料

盧舍那大仏の像成りて、始めて開眼す。是の日、東大寺に行幸したまふ。天皇、^{みづか}親ら文武の百官を率ゐて、^{せつさいたいえ}設齋大会(注1)したまふ。(中略)僧一万を請ふ。既^{すで}にして雅楽寮と諸寺との種々の音楽、並に^{ことごと}咸く来り集る。復、王臣諸^{また}氏の^{ごせち}五節・^{くめまい}久米儺・^{たてふし}楯伏(注2)・^{とうか}蹋歌・^{ほうこ}袍袴(注3)等の^{かぶ}歌儺有り。(中略)仏法東^{いた}に帰^{さいえ}りてより、齋^{かつ}会の儀、嘗^{かく}て此の如く盛^{ごと}なるは有らず。

(『続日本紀』)

(注1) 設齋大会：食物を僧に供養して行う大規模な法会。齋会も同じ。

(注2) 五節・久米儺・楯伏：日本古来の歌舞の種類。

(注3) 蹋歌・袍袴：外来の歌舞の種類。

X 天皇が多く^の官人を引き連れ、国家的事業として大仏開眼供養会を行った。

Y 大仏開眼供養会では、国内外の多彩な音楽・歌舞によって、儀式の盛大さが演出された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

問 6 下線部㉔に関連して、平安時代の地方支配に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

X 徴税単位にわけられた田地の納税を請け負った。

Y 一国の実質的な支配権を与えられ、近親者を国守に任命するなどして、その国からの収益を取得した。

a 検田使 b 負名 c 預所 d 知行国主

① X—a Y—c

② X—a Y—d

③ X—b Y—c

④ X—b Y—d

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。



日本史B

第3問 中世から近世初期までの地震とその影響に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A 中世の日本列島で起きた数々の地震は、当時の人々によって、天変地異として恐れられるだけでなく、しばしば政治の動きと関連づけられてきた。

1185年、壇の浦で平氏が滅びた直後に①京都を襲った大地震は、その原因についてさまざまな憶測が飛び交うなか、平清盛が龍りゅうになって起こしたものと噂うわさされたという。また、1293年に大地震にみまわれた鎌倉では、余震の続くなかで得宗家の北条貞時が内管領の を殺害している。②朝廷に対する鎌倉幕府の影響力が高まるなか、この鎌倉での事態は朝廷にも深刻に受けとめられ、関東の地震を公式の理由とする改元がはじめて行われた。

このように、地震と武士の政争とは相前後して起こることがあり、こうした事態がたびたびあったため、地震に対する貴族たちの意識も変化をみせるようになる。観応の擾乱では、 と高師直の軍事衝突が地震と重なったこともあり、地震の発生を武士の引き起こす政争の前兆と心配する貴族も現れた。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 三浦泰村 イ 足利尊氏
- ② ア 三浦泰村 イ 足利直義
- ③ ア 平頼綱 イ 足利尊氏
- ④ ア 平頼綱 イ 足利直義

問 2 下線部㉔に関連して、中世の京都とその周辺について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 院政期には、仏教を厚く信仰する天皇らにより、法勝寺をはじめとする六勝寺が造営された。
- ② 鎌倉時代には、月行事を代表とする町組が形成された。
- ③ 室町時代には、京と鎌倉の往来がさかんとなり、『十六夜日記』などの紀行文が書かれた。
- ④ 戦国時代には、酒屋に対する幕府の課税が始まった。

問 3 下線部㉕に関連して、朝廷と鎌倉幕府との関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 15

- Ⅰ 幕府は朝廷の監視などを目的に六波羅探題を設置した。
- Ⅱ 幕府は皇位の継承について、両統迭立の方針を提案した。
- Ⅲ 幕府からの求めにより、皇族がはじめて将軍となった。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史B

B 中世の日本列島で発生した地震は、人々の生活に大きな影響をもたらした。なかでも、一定の周期で列島に襲いかかる南海トラフ巨大地震による被害は甚大なものであった。地域社会におよんだ被害の状況は、いくつかの資料から知ることができる。たとえば土佐国では、11世紀末の地震によって、海辺に立地する◎荘園の耕地が海中に沈んだという。また伊勢国では、15世紀末の地震と津波によって、①大湊などの港町が壊滅的な状況に追い込まれ、復興に時間を要した。

16世紀末に、豊臣秀吉は◎伏見城を築くにあたって、部下に地震への備えを指示する手紙を出した。そのなかで彼は、地震を「なまつ」と表現している。地震と「なまつ」、すなわち^{なます}鯰が結びつけられた史料は、この秀吉の手紙が最古だといわれている。その後、建設が進められた伏見城は、1596年の大地震によって倒壊した。地震に対する秀吉の懸念は現実のものとなったのである。

問 4 下線部◎に関連して、中世の農耕が描かれた次の図に関して述べた下の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

16



(『大山寺縁起絵巻』)

- a 牛に耕具を引かせた農作業の様子が描かれている。
- b 牛と竜骨車を用いた灌漑かんがいの様子が描かれている。
- c 苗を植える作業のそばで、踊念仏が行われている。
- d 苗を植える作業のそばで、田楽が行われている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

問 5 下線部㉑に関連して、中世の都市に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

17

X 瀬戸内では、鎌倉時代以降、兵庫などの港町は衰退していった。

Y 河内国の富田林などでは、浄土真宗の寺院や道場を中心に寺内町が形成された。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問 6 下線部㉒に関連して、桃山文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 三味線を伴奏に人形を操る人形浄瑠璃が始まった。
- ② 城郭内部の障壁画などに濃絵の手法が用いられた。
- ③ 小歌に節づけをした隆達節が庶民の人気を博した。
- ④ 簡素さよりも豪華さをたつとぶ侘茶が大成された。

日本史B

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。



日本史B

第4問 近世の外交・思想・宗教に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)
(配点 16)

A 豊臣秀吉による二度の朝鮮侵略に際して多くの朝鮮人捕虜が日本に連行されたが、その結果として、捕虜により伝えられた学問や技術が日本に影響を与えたという側面もある。たとえば、藤堂高虎の軍に捕らえられ、伏見に連行された姜沆^{きやう}(カンハン)は、京都五山の僧であった **ア** に朱子学を教えている。

徳川家康は近隣諸国との安定した外交関係構築をめざし、朝鮮に対しては、悪化した関係を **イ** を通じて修復しようとした。その結果1607年に朝鮮の使節が来日し、両国間の講和が成立した。その後幕府は②海外との交流を制限していくが、朝鮮とは、將軍の代替わりの際に使節の派遣を受けるなど、国家間の交流が続けられた。

①日朝関係の修復過程では、朝鮮人捕虜の帰国が大きな課題となった。姜沆は1600年に帰国したが、講和成立後も多くの朝鮮人が日本に残されたままだった。なかには講和成立から30年以上を経てようやく帰国できた者などもいたが、終生日本で過ごした者も多かった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① ア 熊沢蕃山 イ 対馬藩
- ② ア 熊沢蕃山 イ 薩摩藩
- ③ ア 藤原惺窩 イ 対馬藩
- ④ ア 藤原惺窩 イ 薩摩藩

問 2 下線部㉔に関連して、近世日本が海外から取り入れた技術・文化に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

- Ⅰ 活字印刷術を用いた天草版(キリシタン版)が出版された。
- Ⅱ 亜欧堂田善が、西洋画の技法を用いた作品を描いた。
- Ⅲ 幕府は高島秋帆に、西洋砲術の演習を行わせた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部㉕に関連して、江戸時代の日朝関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 幕府は1609年の己酉約条にもとづき、日朝貿易を独占した。
- ② 朝鮮から日本へ送られた使節は、謝恩使とよばれた。
- ③ 釜山に倭館がおかれ、日朝貿易の窓口とされた。
- ④ 徳川家綱は、朝鮮からの国書における将軍の表記を「日本国王」に改めさせた。

日本史B

B 江戸時代には、誰もが檀那寺をもつようになった。これは、幕府がキリシタン禁制の徹底を目的に **ウ** 制度を設け、寺院に檀家・檀徒であることを証明させたためである。また家の安定的な存続が可能になった庶民層においても、位牌や墓を伝え、先祖をまつことが、この制度のもとで広がった。

一方、町や村には多くの神社もあった。村の神社での祭祀や祭礼は農業など生業にも深く関係し、**㉔** 村民の結びつきを支える場となった。1665年に幕府が発布した **エ** により、公家の吉田家を通じて神職が統制され、村の神職の組織化が進んでいった。

また僧侶や神職以外にも、町や村には陰陽師や修験者などのさまざまな宗教者がおり、祈禱や占いなどを行って、人々の信仰にこたえた。江戸時代後期になると村々を訪れる宗教者が増加し、治安状況の悪化とあいまって、**㉕** 彼らが村々へ出入りすることを、領主が制限することもあった。

問 4 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- ① ウ 寺 請 エ 諸社禰宜神主法度
- ② ウ 寺 請 エ 禁中並公家諸法度
- ③ ウ 本 末 エ 諸社禰宜神主法度
- ④ ウ 本 末 エ 禁中並公家諸法度

問 5 下線部◎に関連して、次の史料は山城国久世郡寺田村の記録の一部である。

この史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23

史料

同年(注1)九月十九日の晩、念仏寺へ庄屋・年寄(注2)寄り合い、山盗の穿儀(注3)これ有り候、盗み申すもの共呼び出し、(中略)しめて(注4)七人は、立木を切り申すゆえ、二里(注5)四方追放に申しつけ候。

(『上田氏旧記』)

(注1) 同年：1700(元禄13)年。

(注2) 庄屋・年寄：村役人。

(注3) 穿儀：取り調べ。

(注4) しめて：合計。

(注5) 二里：一里はおよそ4 km。

X 村役人の会合において、盗人の取り調べがなされている。

Y 立木の盗人に対し、追放刑という処分が下されている。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

問 6 下線部①に関連して、江戸時代後期の村社会の変容や、それに対する領主の対応について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 幕府は関東農村の治安悪化に対応するため、関東取締出役を設置した。
- ② 村役人が百姓の要求を領主に直訴する村方騒動が頻発した。
- ③ 大坂周辺の綿織物業で、マニユファクチュアが展開した。
- ④ 荒廃した村落を立て直すため、二宮尊徳が報徳仕法を実施した。

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。



日本史B

第5問 幕末から明治維新にかけての軍制改革と西洋医学に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。(配点 12)

幕末期、幕府は西洋諸国に対抗するため軍制改革を行った。1862年の文久の改革においては、や京都守護職を新たにおくなど、幕府職制を変更するとともに、西洋式軍制を採用した。一方、^①攘夷論も強まるなかで、戦争時における傷病兵の外科治療という課題も浮上し、幕府の西洋医学の教育機関である医学所は外科研究に力を入れた。またこのころ幕府は庶民からも兵を集めていたこともあって、庶民に患っている者が多かった性感染症の研究も行っていた。

明治維新时期、戊辰戦争の傷病兵治療で^②西洋医学の必要性がますます明らかとなり、明治政府は学術試験を課すなどして軍医の質の向上をはかった。1871年のでは、諸藩の軍隊を解体した。その後^③徴兵令を發布したが、これに先立ち、軍医は成人男子の身長を調査し、徴兵に適した体格の標準値を策定していた。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | |
|---|---------|--------|
| ① | ア 政事総裁職 | イ 版籍奉還 |
| ② | ア 政事総裁職 | イ 廃藩置県 |
| ③ | ア 議定 | イ 版籍奉還 |
| ④ | ア 議定 | イ 廃藩置県 |

問 2 下線部㉔に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 老中阿部正弘は、幕府の独断で日米和親条約を締結した。
- ② 孝明天皇の妹和宮が徳川慶喜に嫁いだことは、攘夷派を刺激した。
- ③ 大老井伊直弼は、坂下門外で水戸浪士らに暗殺された。
- ④ 幕府が攘夷実行を約束したことをうけ、長州藩は外国船を砲撃した。

問 3 下線部㉕に関連して、19世紀の西洋医学に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- Ⅰ 志賀潔が赤痢菌を発見した。
- Ⅱ 蘭学や蘭方医を志す者のために、緒方洪庵が大坂で適塾を開いた。
- Ⅲ 西洋医学教育の分野でも、お雇い外国人の招聘しょうへいが始まった。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問 4 下線部㉖に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

- X 徴兵告諭にもとづき発布された徴兵令は、国民皆兵を原則とした。
- Y 徴兵制度は民衆にとって負担となり、血税一揆などの抵抗を生んだ。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史B

第6問 戦前からジャーナリストとして活動し、戦後は首相にもなった石橋湛山に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 24)

A 石橋湛山が『東洋経済新報』で言論活動を始めたのは、デモクラシーが世界的に広がるなかで、日本でも民主主義的・自由主義的な学問・思想が展開した時期であった。のちに大正デモクラシーとよばれるこの風潮のなかで、**ア**は、政治の目的を民衆の利益と幸福を実現することと位置づけ、民衆の意向を無視してはならないとする民本主義を唱えた。

この時期には、新聞や、総合雑誌の『**イ**』『改造』などを舞台にデモクラシーを促進する言論が展開され、知識人を中心に結成された黎明会や、東京帝国大学学生らによる新人会などの団体も生まれた。

石橋湛山はこうした潮流に対応し、国内政治については国民主権論を唱えて議会政治の進展を説くとともに、**㉑**女性の社会的地位についても積極的に発言した。国際政治に対しては小日本主義を唱えて日本の膨張政策を批判した。その主張の背景には、**㉒**民族運動の高まりへの理解とともに、国際的な貿易拡大の動向を踏まえた経済的合理主義があった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- ① ア 吉野作造 イ 中央公論
- ② ア 吉野作造 イ 明六雑誌
- ③ ア 河上肇 イ 中央公論
- ④ ア 河上肇 イ 明六雑誌

問 2 下線部②について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

X 平塚らいてうや市川房枝が、女性の地位の向上や、権利の擁護などを目的として1920年に結成した。

Y 女性や子どもの就業時間制限や深夜業禁止などを規定したが、法の適用範囲が狭いなど、不十分な内容であった。

a 赤瀾会

b 新婦人協会

c 工場法

d 商法

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 3 下線部①に関連して、第一次世界大戦後の民族運動の展開に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

① 日本からの独立を求める運動が、朝鮮全土で展開された。

② 韓国の民族運動家によって、伊藤博文が殺害された。

③ 毛沢東の指導のもとに、中国統一をめざす北伐が開始された。

④ 西安事件をきっかけに、第1次国共合作が実現した。

日本史B

B 関東大震災以降、大正デモクラシーの潮流は徐々に後退していった。1924年に東洋経済新報社の主幹となった石橋湛山は、政党内閣に対し軍備縮小を要求し続けるとともに、金解禁論争などで注目を集めた。

満州事変以降、政府が㉔思想や言論の統制を強化するなかで、共産主義者らの転向があいついだ。日中戦争、アジア太平洋戦争(太平洋戦争)へと戦争が拡大するにつれ、思想統制は厳しさを増していった。日中戦争以降、多くの文化団体が解散させられて国策への協力を求められ、㉕戦争とのかかわりを深めていった。

石橋は、そのようななかでも、経済界の強い支持を受けながら言論活動を続け、㉖軍部の政治介入と戦争拡大の風潮を批判した。

問 4 下線部㉔に関連して、近現代の思想・言論への統制に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 32

- Ⅰ 東京帝国大学教授の河合栄治郎が、ファシズム批判を理由に休職処分となった。
- Ⅱ 日本最初の社会主義政党である社会民主党が安部磯雄らによって結成されたが、直後に解散させられた。
- Ⅲ 第1回男子普通選挙で無産政党から当選者が出ると、共産党員が大量検挙され、労働農民党などが解散させられた。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
- ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

問 5 下線部㉑に関連して、戦中・戦後の文化に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 戦争に協力する文学者団体として、日本文学報国会が設立された。
- ② 石川達三が、中国戦線における日本軍を題材にした小説を執筆した。
- ③ 本土空襲に備えて、文化財保護法が制定された。
- ④ 敗戦後、黒澤(黒沢)明の映画が国際的に高い評価を得た。

問 6 下線部㉒に関連して、軍部に対する政党の影響力を防ぐ目的で定められた軍部大臣現役武官制に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

X 大正政変をうけて成立した内閣において、軍部大臣現役武官制の現役規定が削除された。

Y 五・一五事件直後に成立した内閣において、軍部大臣現役武官制が復活した。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史B

C 戦後、政界に進出した石橋湛山は、第1次①吉田茂内閣の大蔵大臣として経済復興政策を進めた。その後、公職追放にあったが、公職追放解除後は、憲法改正・再軍備・自主外交などのかかげて成立した鳩山一郎内閣の通商産業大臣に就任した。1956年、自由民主党総裁に選ばれた石橋は、鳩山内閣のあとをうけて組閣したが、病気のため2か月で辞職した。

石橋は、政界の第一線を退いたあとも、政治・外交について積極的に発言し続けた。②日米安全保障条約改定以降は、日米中ソの平和同盟締結を唱えるなど、東アジアの国際秩序の安定をめざす活動に力を入れている。石橋は、国際連合を中心にすえた国際平和の構築を模索したのである。

問7 下線部①の人物について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

35

- ① 保守合同によって結成された自由民主党の初代総裁となった。
- ② 日本社会党を中心とする連立政権の首相となった。
- ③ 全面講和論をしりぞけ、サンフランシスコ平和条約を締結した。
- ④ 連合国軍の進駐を受け入れ、降伏文書に調印した。

問 8 下線部㉔に関連して、次の史料に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 36

史料

今や日ソ間の貿易協定は着々成果をあげつつあるが、中国との国交の打開をも速やかに実現すべきである。(中略)全人類の四分の一にも達する隣の大国が、今ちょうど日本の明治維新のような勢いで建設の途上にある。それをやがて破綻するだろうと期待したり、また向こうから頭を下げてくるまで待とうとするような態度が、はたして健康な外交であろうか。戦後十五年を経て、すでに戦後の時代は去ったようにいう人もあるが、今次大戦の中心は中国にあったのであり、その日中戦争を終息せしむることこそ戦争終結のための最大の課題ではないか。しかも相手は暴虐の限りをつくした日本に対して、^{あだ}仇を恩で返すことを国是とし、一切の報復主義を排して逆に手を差し伸ばして来ている。

(石橋湛山「池田外交路線へ望む」1960年)

- a この文章で石橋は、日本政府の外交姿勢に疑問を呈している。
- b この文章で石橋は、日本政府の外交姿勢を高く評価している。
- c この文章が書かれた当時、日本はすでに中華民国と平和条約を結んでいた。
- d この文章が書かれた当時、日本はすでに中華人民共和国と平和条約を結んでいた。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d